

インド自動車産業における 日本型雇用のあり方

～100を超える日系工場への
訪問調査からみえたもの～

講師

佐藤 隆広 氏

神戸大学教授

神戸大学経済経営研究所副所長



専門はインド経済(インド進出日系企業製造業の生産性と効率性、インド労働市場、マクロ経済政策に関する実証研究)。カリフォルニア大学バークレー校南アジア研究センター客員研究員、ジャワハルラール・ネルー大学・ジャワハルラールネルー高等研究所フェローなど歴任。開発経済学の分析手法を用いて、インド経済が現在直面するさまざまな経済問題を分析。日印経済関係に関する歴史的な分析とインド進出日本企業に関する基礎的データベースなども構築。『経済大国インドの機会と挑戦ーグローバル・バリューチェーンと自立を志向するインドの産業発展ー』(編)(白桃書房、2023年)、『図解インド経済大全』(共編)(白桃書房、2021年)など著書多数。

セミナー概要

中国に代わり世界経済の牽引役を期待されるインド。現在、二輪および四輪自動車生産の世界的な集積地となっています。この背景には、ホンダやスズキ等のインドに進出した日本企業の役割を軽視することはできません。その中でも、インド自動車産業における日本型雇用のあり方がその生産性と効率性に大きな影響を与えてきました。時によっては、日本では有していない能力が要求されることもあります。本セミナーではインドの基本的な経済・文化・宗教の概要を紹介したうえで、100を超える日系製造工場への訪問調査からみえてきた現状と課題を明らかにし、過去、現在、未来において日系企業がインドの産業発展に果たしてきた役割とはなんだったのか？、そして将来的にインドは中国に代替する存在になりえるのか？等について考えてみたいと思います。

※講演終了後 16:00～17:00 まで「講師を囲んでのネットワーキング交流会」を開催します。

2024 5 / 16 木 14:00～16:00
[受付:13:30]

要予約

受講料:無料

【場所】愛知大学 名古屋キャンパス講義棟 4階L405

愛知県名古屋市中村区平池町四丁目 60 番 6

定員:先着 120名

主催 愛知大学国際ビジネスセンター

後援 (独)日本貿易振興機構(ジェトロ)名古屋貿易情報センター、(公財)あいち産業振興機構、

(予定) (独)中小企業基盤整備機構中部本部、(一社)東海日中貿易センター、愛知大学同窓会

お申込みはHPをご覧ください。

愛知大学国際ビジネスセンター

検索